

令和4(2022)年度 事業計画書

[令和4(2022)年4月1日から令和5(2023)年3月31日まで]

特定非営利活動法人 子育て応援ナビぽっかぽか

1 事業実施の方針

1) 地域子育て支援拠点事業

(1)子育て中の親子の交流の場としてのつどいの広場

昨年度同様、地域子育て支援拠点の4本柱（①交流の場の提供・交流促進 ②子育てに関する相談・援助 ③地域の子育て関連情報提供 ④子育て・子育て支援に関する講習）等を実施することで、子育て親育ちの場としての役割を担う。

「子どもたちの笑顔のために今、私たちにできることを！」をメインテーマに掲げ、サブテーマは「ひとりひとりの成長をめざして」とする。

(2)託児サービス

昨年度同様、地域密着Ⅱ型事業として保育士、子育て支援員等の2名体制で実施する。子どもの発達に合わせた関わりをしていく。

(3)子育て支援に関する研修等

昨年度同様、全国的な研修がオンラインで参加できるため積極的に受講する。また、今できる自己研鑽と内部研修を充実する。

(4)出張ひろば

昨年度同様出張ひろば・ぽっかぽかを倉敷市立倉敷幼稚園2階で、毎週金曜日開所する。新規利用親子の増加をめざし、店舗への案内チラシの掲示依頼、マンション・コーポ等へのポスティングを行う。

(5)地域支援

地域とつながることで解決できることを見極めつつ、地域課題に取り組んでいく。

2) 家庭教育等情報収集・交換・発信事業

(6)ぽっかぽか家庭教育学級(倉敷市生涯学習課委託事業)

新型コロナウイルス感染症の影響で大規模な講座は難しいので、今だからこそできる効果的な広報の仕方を学んだり、オンラインでの発信の工夫を学んだりして、より多くの人に情報を届ける。

3) 地域ふれあい交流活動事業

(7)実施なし

4) 専門家による相談事業

(8)助産師等による妊産婦等相談支援

妊産婦を対象に、産前産後の心身の相談支援を行う。

(9)産じょく期ヘルパーの実施(倉敷市子ども相談センター委託事業)

産科での母親学級等が十分実施されないため子育てについて不安を抱えたまま出産している母親に、このサービスの存在を届ける工夫をする。

(10)ママヘルパーの実施

産じょく期ヘルパー利用期限後の親子に求められた場合に提供できる自主事業であることを広報していく。特にそのニーズを把握しやすい子ども相談センターや保健所には紙ベースの案内チラシを配布して、詳細について説明する。

2 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動に係る事業)

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
1) 地域子育て支援拠点事業	(1) みんなの広場・ぽっかぽか	年間240日 月～木・土 9時～14時	倉敷市美和 1-8-5 山内服装専門学校2階	2～3人	就学前の乳幼児親子 延べ7,000人程度	27,590
	(2) 託児サービス	年間240日 月～木・土 9時～16時		2人	就学前の乳幼児 延べ300人程度	
	(3) 子育て支援に関する研修等	月1回程度	岡山県内各所	1～3人	就学前の乳幼児親子 延べ7,000人程度	
	(4) 出張ひろば	年間50日 金 9時～14時	倉敷市中央 2-7-1 倉敷幼稚園 2階	2人	就学前の乳幼児親子 延べ1,000人程度	
	(5) 地域支援	月1回	倉敷市内各所	1～2人	地域住民等 延べ5,000人	
2) 家庭教育等情報収集・交換・発信事業	(6) ぽっかぽか家庭教育学級 (倉敷市生涯学習課委託事業)	年間5回	倉敷市内各所	3～4人	子育て中の保護者等 各回30人程度	90
3) 地域ふれあい交流活動事業	(7) 実施なし					
4) 専門家による相談事業	(8) 助産師等による妊産婦等相談支援	随時	倉敷市内各所	1～2人	妊産婦等 延べ100人程度	0
	(9) 産じょく期ヘルパー (倉敷市子ども相談センター委託事業)	年間60回程度	倉敷市内各所	1～2人	生後4か月までの乳幼児親子 延べ60組程度	193
	(10) ママヘルパー	年間30回程度	倉敷市内各所	1～2人	生後4か月以降の乳幼児親子 延べ30組程度	45